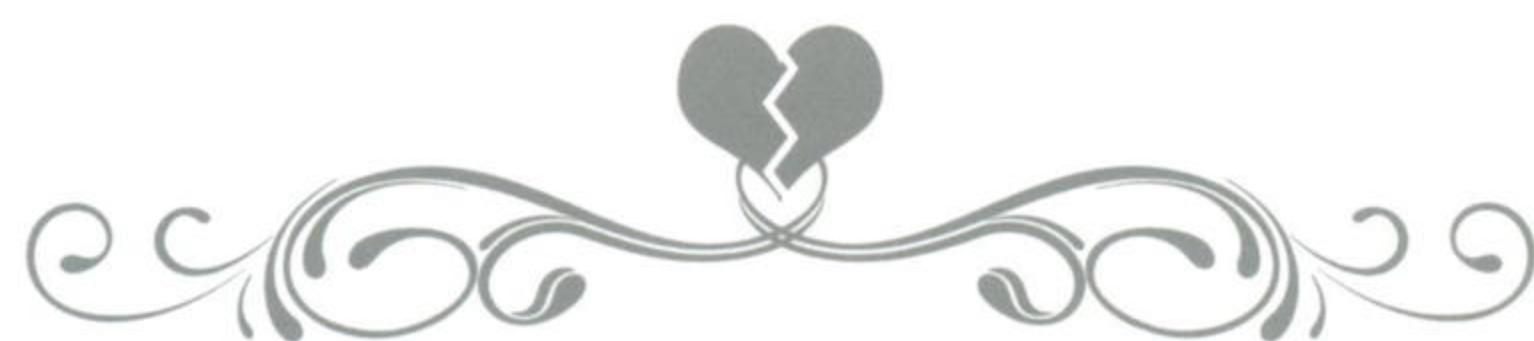




The Butterfly and the Tank

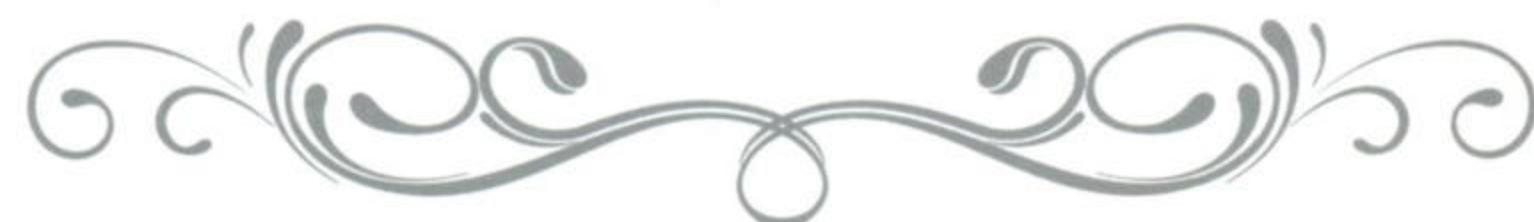
rei mei Nördlingen presents
GrB BC jijugakuen fanbook.

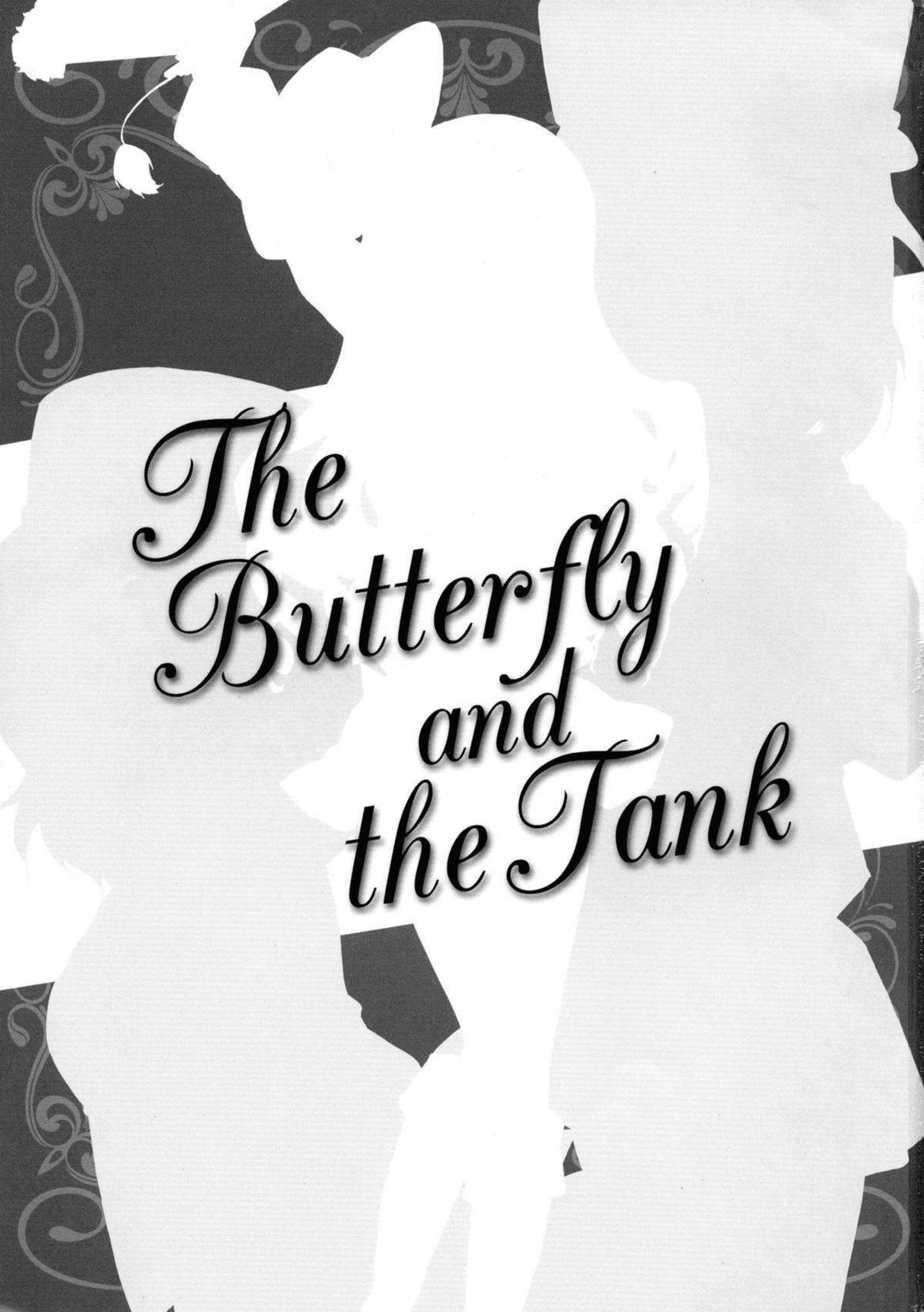


rei-mei Nördlingen

presents

GuP BC jiyugakuen fanbook.





The Butterfly and the Tank

Preface

うほっ!

こんにちは、黎明ネルトリンゲンの黒井です～～!!!

最終章を見たタイミングは、冬コミの新刊二冊目がほぼ描き終わったタイミングでして…
相方と相談して…もう一冊作るつきやないな?!と、
ある意味当然の結果のように本作に取り掛かりました(笑)
期待を裏切らず予想はきっちり裏切ってくる、
そんな丁寧な作品作りに本当に毎回ハートをつかまれすぎてしまいます。

本書をお手に取って開いていただけているということは、
おそらく最終章一話をご覧になっていただけていると思うのですが
それでもどこまでネタバレ含めた語りをしてもいいのかちょっと迷うところですね。

まずは聖グロびいきの私としてはうれしいカットがすごく多かったです…!!
ちょいちょいヒップやルクリリも登場して劇場でじっとしているのが大変でした(笑)
語りだすときりがないんですが高森奈津美さんの声がかわいいアイツにも
もれなくウホウホホです。

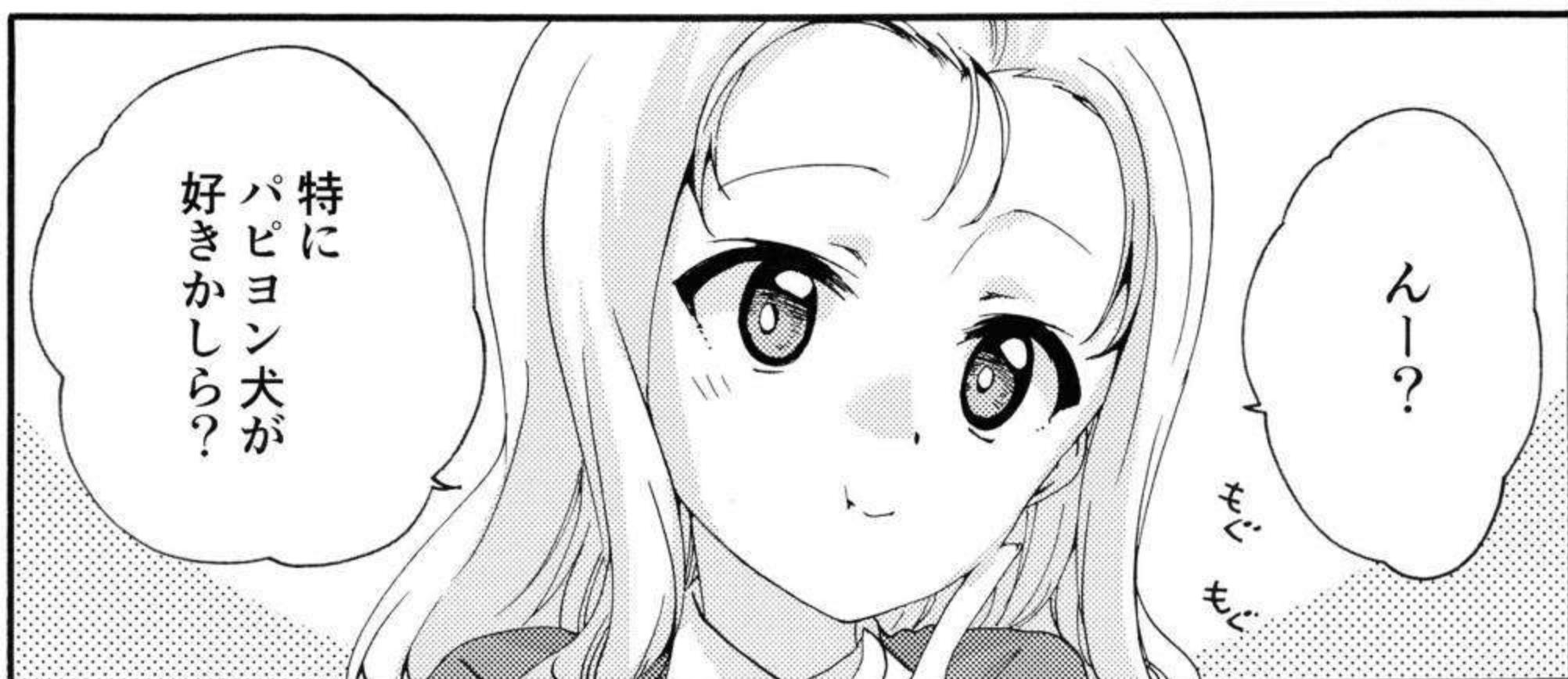
そしてBC自由ですよね……。
本を作った時点で原稿にはほとんど語りたいことを注いでいるので
改めて文章にするのが難しいですが、私はマリー様派です…!あああ…おかわいらしい…。
戦車に座ってるときクッション敷いてらっしゃるのもかわいらしいですし
(さおりん達と感覚が似てる?)
一挙手一投足がいちいち一筋縄ではいかない雰囲気も魅力的。
急発進で仰け反るところでもかなり心が持っていかれますが、
ラストのセリフもとてもお気に入りです。
あの少女っぽい見た目に原由実さんの高貴で大人っぽい声が合わさると
あんなにも危険な可愛さになるんですね…ふう…。

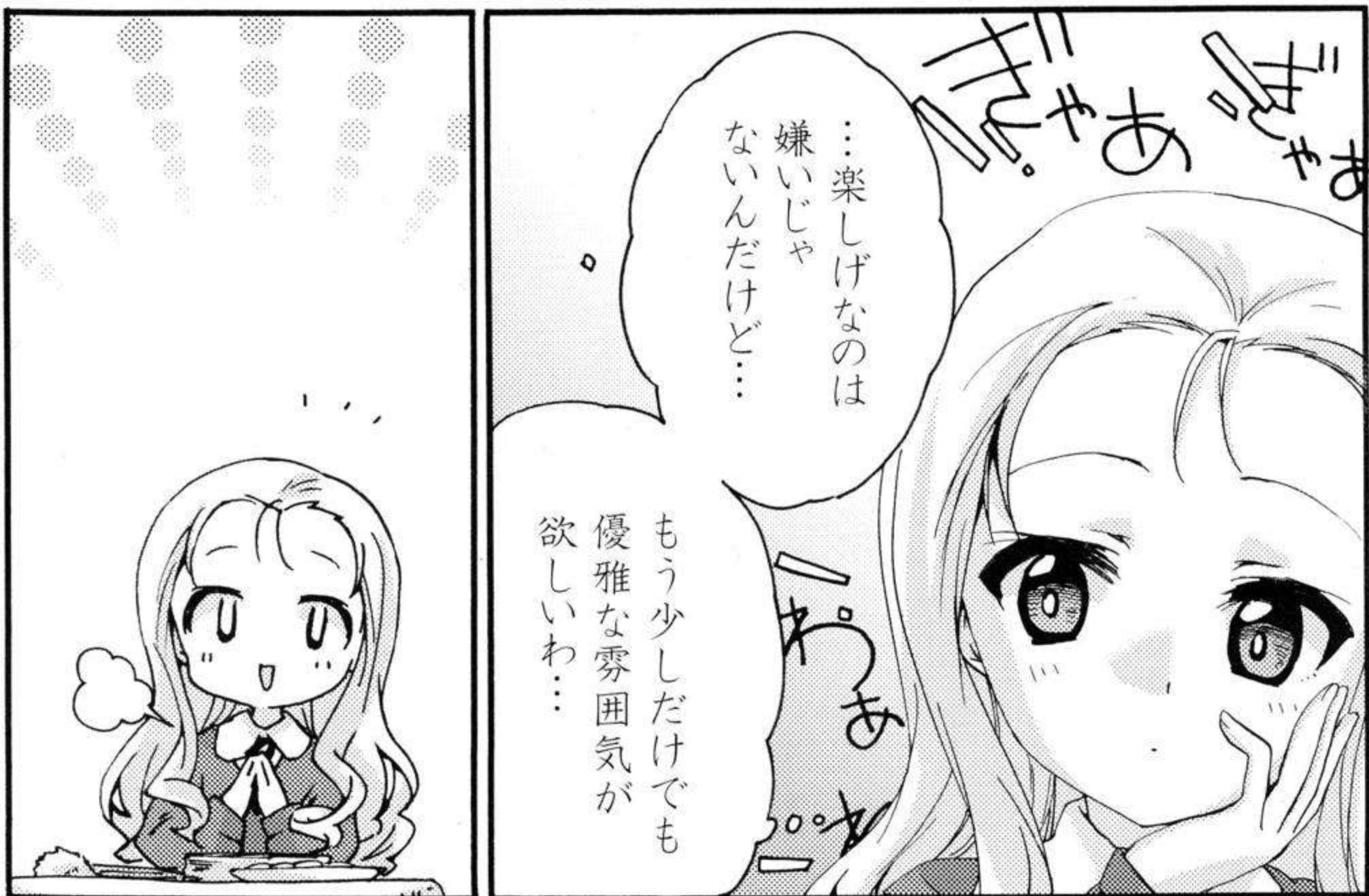
む、だいぶん語ってしまった…。また年明けて落ち着いたら見に行きたいなあ…ふふふ。
それではそろそろ本編へどうぞ～。

20171231 黒井みめい

この負け犬が！
恥を知れ
灰は灰へ！
犬は犬小屋へ！







無理無理無理無理無理

はあ！？

ケーキとパンだって
相容れるもの
でしょ？

お、お言葉
ですが…！

正直不本意だが
隊長が
そういうのなら…

…わ
わかりました

そこにどんな
違いがあるの
かしら？

どう仲良く
するものか
など…

とは
言つても…



わからん！

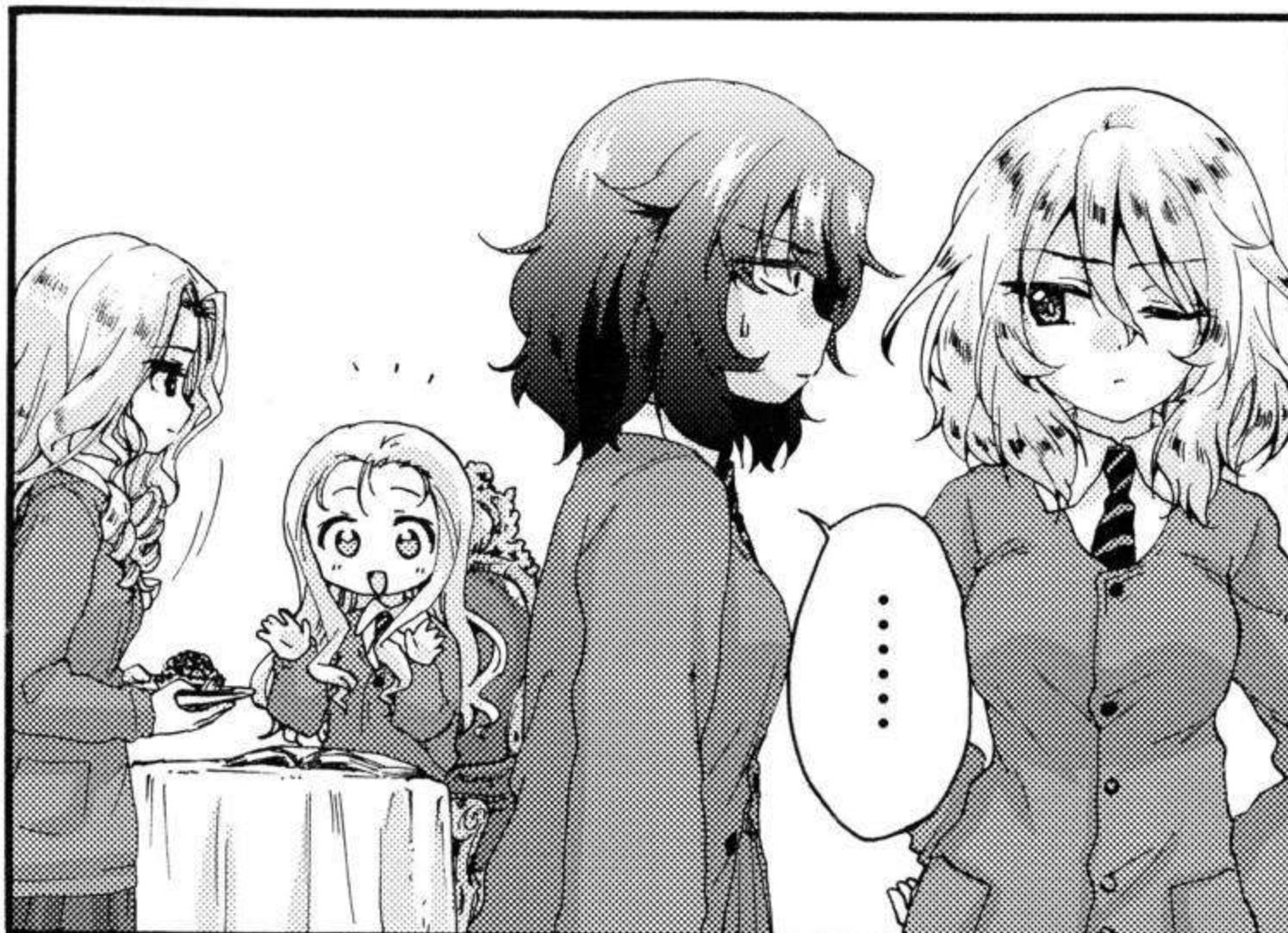


思えよ!! ありがたいと
だけでも ありがたいと
まともに返事してやつてる

どこが
まともだ！







教養なくして
人と名乗るな！

そういうところが
おかしいと
思わないのかよ！

教養さえあれば
人を下に見ても
いいと思つて…！

な…：

…まさか
ヘミングウェイも
知らないのか
せっかく
交流を
してやるにも
これでは…：

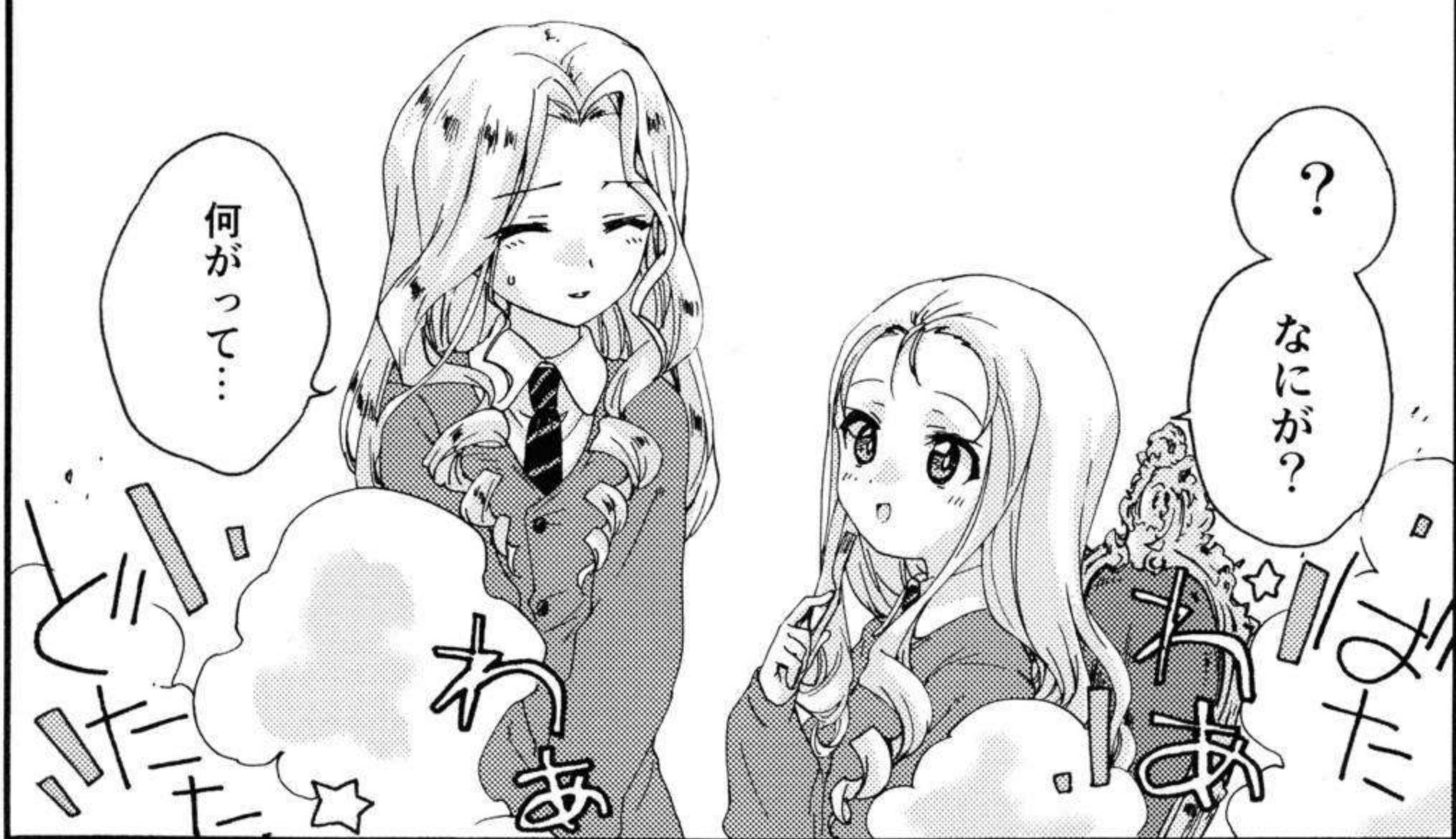
お二人の方は
よいので
しょうか？

…あの
マリー様

でも香水を
水鉄砲で
撃つた人って
最後…：

ああ…
『蝶と戦車』…

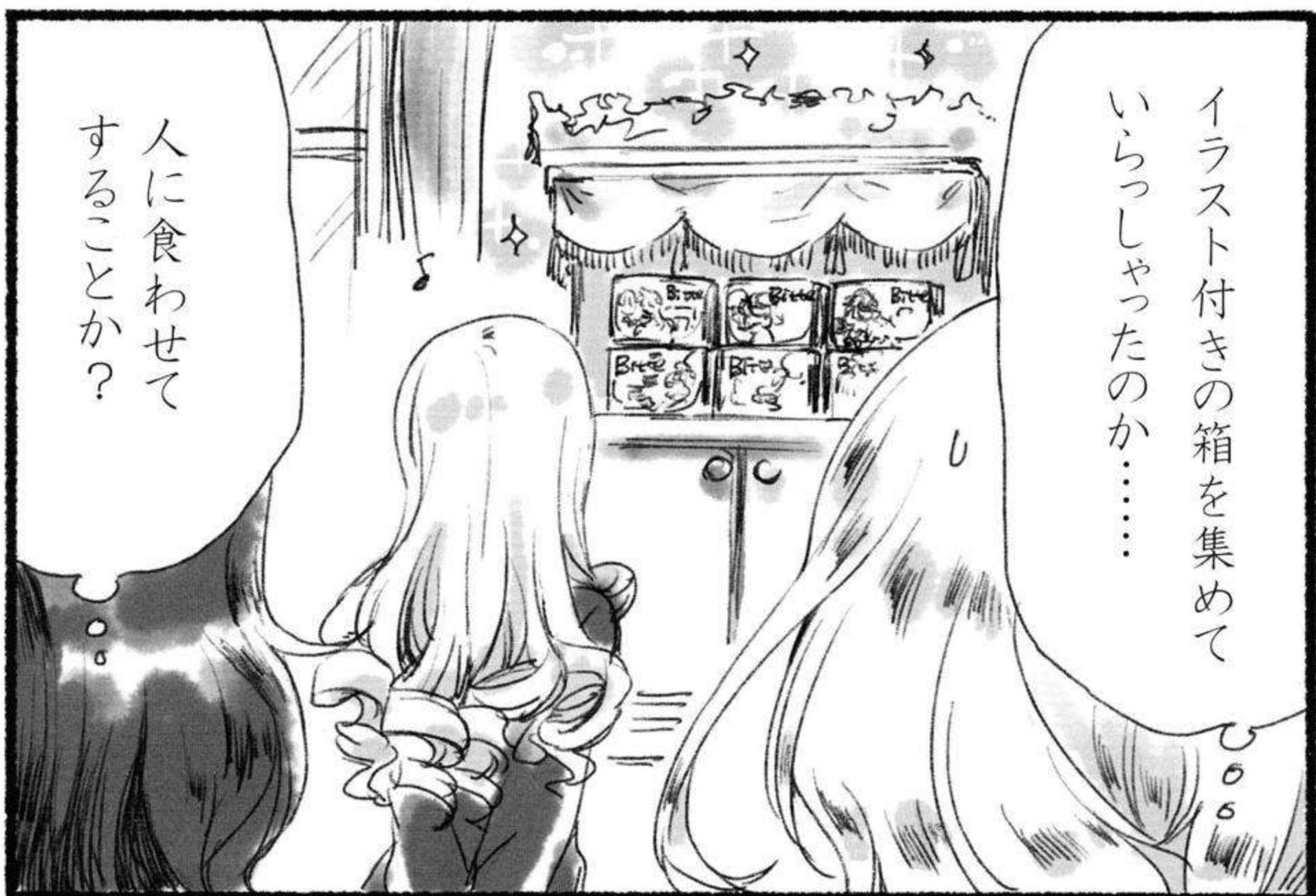
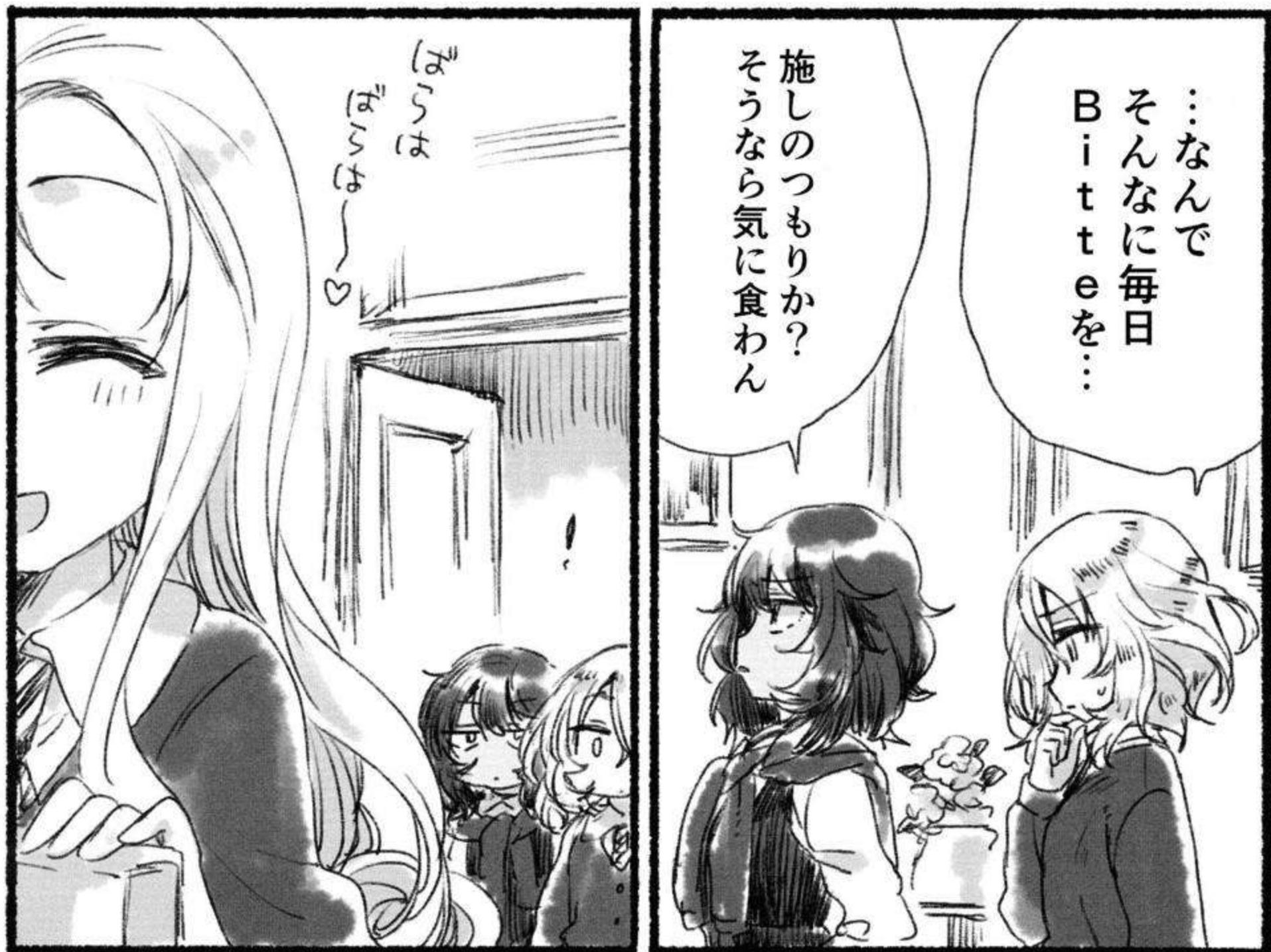
な…
ヘミングウェイ…
キジ田舎…!!















編み物でも
しようっと♪



épilogue

おつかれさまです、お話し担当の稀周です。

やった一本できたー！

『最終章 第1話』を観に行って「あ、これは本創りたい…」となって

相方と相談して、なんかちょっとだけ無理したら出来ました…

(相方も似たようなテンションだったみたいで…)

ちなみに締め切り一日前に喋り方とか振舞いの再確認の為に

時間がない中、もう一度観に行くという無茶具合…

「あまり違和感がない」と思ってもらえるくらいの本になっていればいいなあ…

本編の話はどれだけしていいのでしょうか…？

多分すでに『最終章 第1話』を観に行った人しか読んでないと

思うから気にしなくてもいいと思うのですが話しだすと

ページが足りなくなると思うので適当にかいつまんで…

冒頭に『OUTRUN』のアーケード筐体があるのは良いですよね♪(テレビ横)

一気に人が住んでる感というか、好きな人がいるから持ててこられたのかとか

色々想像できていいくよ♪プレイしに行く生徒とかいるのかな…？

戦車に関してはポルシェティーガーのモーター音でテンション上がって

markIVが出てきて、なんかテンション下がるんじゃないんですけど

なぜか妙に胃が痛くなつて…(…落ち着かなかつたのかなあ二回目観た時も同じ感覚でした)

落とし方が巧いのと同時に「因幡の白兎作戦」できちんと活躍もしていくすごいな…と

本的にはゲイシ-自由の話をしておいたほうがいい感じですかね？

マリーが極端に相手を見ないで話すのが印象的でした

…まだわからないですよね…人間関係…

仲良くてもいいし仲悪くてもそれはそれでいいですよね…

あまり仲がよろしいわけでもないですが目的が一致している分には

相手の力量は認めてるので文句は言わない、くらいが好きかも…

どちらにしてもピリピリしたままでなく、

最後の「玉葱の歌」でみんな笑顔で締めるのは『ガルパン』でいいですね♪

唄うなら「ラ・マルセイエーズ」か「サ・イラ」を唄うのかなーと思ってました

あ、『Bitte』美味しいよ?『ベルばら』パッケージのデザインセンスは素晴らしいの一言♪

171231 稀周悠希

The Butterfly and the Tank

奥付

20171231

黎明ネルトリンゲン

稀周悠希&黒井みめい

<http://reineru.com/>

kisyu_yuki@reineru.com

印刷・ねこのしつぽさま